

～第6次豊川市総合計画策定のための～
豊川市のまちづくりを考える
団体アンケート調査
実施報告書



豊川市宣伝部長

© いなりん

豊川市

平成26年10月

1. 調査の概要

(1) 目的・調査対象

第6次豊川市総合計画の策定にあたり、これからの豊川市のまちづくりにおける課題や必要な取組みなどについて、市内で活動する各種団体の意見を聞くため、記述式のアンケート調査を実施した。

(2) 実施時期・方法

実施時期：平成26年5月末～平成26年6月30日

実施方法：郵送配布、郵送回収（一部、直接配布・回収）

(3) 調査対象

とよかわボランティア・市民活動センターに登録している団体 368 団体
及び その他の公共的団体 20 団体 計 388 団体

(4) 配布・回収状況

配布数 388 票に対し、回収数は 164 票、有効回収率は 42.3%であった。

回収票の内訳を団体の分類別にみると、「保健、医療、福祉」の団体が 70 票（42.7%）で約4割を占め最も多く、次いで多かったのが「子供の健全育成」の 20 票（12.2%）、「学術・文化・芸術・スポーツ」が 17 票（10.4%）であった。

表 1-1 団体分類別、配布・回収状況

	団体分類	配布数（票）	回収数（票）	回収率（%）	割合（%）
1	保健、医療、福祉	165	70	42.4	42.7
2	社会教育	9	5	55.6	3.0
3	まちづくり	12	3	25.0	1.8
4	学術・文化・芸術・スポーツ	54	17	31.5	10.4
5	環境保全	24	12	50.0	7.3
6	災害救援	9	3	33.3	1.8
7	地域安全	24	13	54.2	7.9
8	人権擁護・平和	1	1	100.0	0.6
9	国際協力	6	3	50.0	1.8
10	男女共同参画	6	2	33.3	1.2
11	子どもの健全育成	52	20	38.5	12.2
12	職業能力開発・雇用機会拡充	1	0	0.0	0.0
13	消費者保護	2	1	50.0	0.6
14	市民活動団体支援	4	2	50.0	1.2
15	その他公共的団体	20	12	60.0	7.3
	全 体	388	164	42.3	100.0

2. 結果のまとめ

現行の総合計画の政策・施策分類に基づき、回答された意見の分類、および件数の集計を行った。

(1) まちの良いところ（魅力、特徴など）

豊川市の魅力、特徴など、まちの良いところをたずねたところ、自然環境に恵まれた緑豊かなまちであることや、交通の便の良さなど「建設・整備」に関する意見が90件で最も多かった。

また、環境、利便性、地域資源などの様々な面で恵まれていることや、産業や都市規模などのバランスよさなどから「住みよさ」をあげる意見が65件で続いた。

表 2-1 まちの良いところ

※意見数が多い分野について、代表的な意見1~2件を「」書きで原文のまま掲載。

問1 豊川市のまちの良いところ(魅力、特徴など)はどのようなことだと思いますか。	294(件)
(政策3)建設・整備	90
海、山、川、桜並木など、自然環境に恵まれている 「海、山、川などの自然環境に恵まれ、自然をうまく取り入れた公園などの設備が整い、無料で開放されている。」	46
「海、川、山と地形に恵まれ、春夏秋冬を四季を感じることができる。恵まれた環境だと思う。」	
交通の便が良い(公共交通、道路網) 「道路・交通網が充実し、鉄道も利用しやすい。」	39
「交通網の整備が出来ており、日本の大動脈の中心地として発展のための好条件を有している。」	
生活基盤(道路、公園等)が整備されている。	3
その他	2
(総合)住みよさ	65
気候、風土、交通利便性、観光資源などの条件に恵まれていて住みやすい 「自然災害もほとんどなく、他市へ行くにも交通の便がよく、働く場所もたくさんある。他の町の人からいいところだねと言われる。」	35
「山、川、海と自然に恵まれ、大きな災害もなく、物価もほどほど安いので大変暮らすには良いところだと思う。」	
都市規模、インフラ整備、産業構造などのバランスがよい	17
静か、のどか、気候が良い	11
その他	2

(政策5)産業・交流	43
産業が発達している、農・商・工の産業のバランスがとれている	10
農業が盛んで、野菜、果物など地元の食材が豊富	10
豊川稲荷などの観光資源がある	10
日常の買い物、飲食店、映画館などで不便がない	7
大企業が立地している、働く場が確保されている	6
(政策6)行政・協働	37
ボランティア活動が盛ん、地域コミュニティが確立している 「ボランティア活動が多様で活発に行われている。」	26
官・民が一つとなり、B-1 グランプリを成功させた	5
行政サービス、職員がよい	4
財政が安定している	2
(政策4)教育・文化	25
名所旧跡や旧街道、伝統的な祭りなど、歴史文化に恵まれている 「歴史遺産が多い。地域社会に永年大切にされてきた祭り、文化、伝統工芸を大切にしている。」	15
芸術・文化活動に積極的に取り組んでいる	5
高校のスポーツが全国レベル(駅伝、野球など)	4
その他	1
(政策1)安全・安心	17
自然災害が少ない	9
ごみ処理サービ、清掃の日などの取組みがよく、まちがきれい	3
水道水が安全・安定的に供給されている、おいしい	3
交通安全や防犯対策などが出来ていて安心できる	2
(政策2)健康・福祉	15
子育て環境が良い(ブックスタート、児童館、ぎょぎょランドなど)	9
市民病院がある、地域・救急医療体制が整っている	3
福祉が充実している(高齢者)	3
(その他)特徴がない、わからない	2

(2) まちの物足りないところ（課題、問題点など）

豊川市のまちの課題、問題点として挙げられたのは、観光地としての魅力アップや商業の振興など、「産業・交流」についての意見が77件で最も多かった。

次に多かったのは、やや保守的、消極的な市民の気質や、合併後のまちの一体感が不十分であるなど、「行政・協働」に関する意見（42件）だった。

表 2-2 まちの物足りないところ

問2 豊川市のまちの物足りないところ(課題、問題点など)はどのようなところだと思いますか。	211(件)
(政策5)産業・交流	77
観光の振興(魅力づくり、PRなど) 「豊川稲荷以外、観光名所がないところ。」	22
商業の振興(商業施設の充実、大型店の誘致など) 「大きな商業施設がないため、岡崎、豊橋、蒲郡へ買い物客が流れてしまう。」	16
中心市街地の活性化 「豊川市の中心部である豊川駅前や諏訪地区の商店に勢いがなく沈滞している。より一層の活性化を図るべきではないかと思う。」	15
産業の振興(まちの発展、若者にとって魅力あるまちづくりなど)	13
雇用の安定、若者の働く場の確保	7
農業、工業の振興	4
(政策6)行政・協働	42
住民どうしの交流・連携が少ない、市民が消極的 「住民の気質が温和で、その分活気が乏しい。若者にとって魅力のあるまちとは言い難い。」	11
行政サービスの向上(ムダをなくす、きめ細かく迅速な対応、男女共同参画など)	7
合併の効果がでていない、市としての一体感がない	7
まちづくり、市民活動、ボランティアの推進	6
市民(団体)と行政の協働・連携が必要	3
地域情報化、防災放送の充実	3
職員の適正配置、レベルアップ	3
その他(財政運営、税金が高いなど)	2
(政策3)建設・整備	34
公共交通機関の充実(車がないと不便、コミュニティバスの充実など) 「公共交通機関の便が悪い。」	12
道路整備(渋滞解消、歩道増設など)	7

公園・緑地の整備、街路樹の手入れなど	7
土地利用など(有効活用、都市計画など)	5
住環境の整備(区画整理など)	3
(政策2)健康・福祉	18
子育て環境の整備(公園や児童館、サポート施策の充実など)	5
高齢者福祉の充実	4
産婦人科が少ない	3
障害者(児)福祉の充実(障害児への理解、手話サービスなど)	3
福祉の担い手の育成、健康づくりの推進、バリアフリーの推進	3
(政策4)教育・文化	18
文化の振興(文化施設の整備、芸術文化の意識啓発など) 「文化施設が少ない(例えば美術館)。」	14
教育環境(大学がない、教師の待遇改善など)	3
公共スポーツジムの増設	1
(政策1)安全・安心	14
防災対策(学校等の耐震化、避難場所、排水対策など)	4
防犯対策(駅周辺が淋しい、夜が暗い、など)	3
道路や公園の美化	3
交通安全対策(児童の登下校時、歩道の整備など)	2
その他(海の汚染対策など)	2
(その他)	8

(3) 「住み続けたい」まちにするために必要な取組み（事業など）

多くの人に「住み続けたい」と思ってもらえるようなまちにするために必要な取組みについては、子育てや高齢者が安心して暮らせるまちづくりなど、「健康・福祉」についての意見（54件）が最も多かった。

また、「産業・交流」に関する意見も43件あり、中でも若者や高齢者の雇用確保、企業誘致など働く場所の確保と働きやすい環境の整備が重要だとする意見が多く見られた。

表 2-3 「住み続けたい」まちにするために必要な取組み

問3 多くの人に「住み続けたい」と思ってもらえるような豊川市にするために、市ではどのような取組み(事業など)が必要だと思いますか。	220(件)
(政策2)健康・福祉	54
子どもを安心して産み育てられる環境整備(少子化対策、公園や託児施設の整備など) 「子供への手厚い制度。子供が集まれるところ(遊んだり活動できる)ような施設が各所にあると良い。」	24
「自然環境が良いので、住んでいる若い世帯が子供を産み育てていくのに必要な環境づくりが必要。共働き、核家族の家庭への配慮。」	
高齢者が安心して暮らせるまちづくり(福祉施策の充実、生活の安定など) 「包括センターへお世話になるちょっと手前の段階の人たちへの施策がちょっと手薄なような気がする。」	19
「年金生活者の生活の安定を考えてほしい。70歳代の元気な人たちに出来ることはないだろうか。」	
その他(バリアフリー化、心の健康、見守り活動など)	5
地域医療体制の充実(予防医療、在宅医療の充実など)	3
障害者福祉の充実	3
(政策5)産業・交流	43
働く場所の確保と働きやすい環境の整備(若者、高齢者の雇用確保、企業誘致など) 「工業用地開発や企業誘致、さらには大型商業施設の誘致も雇用の創出という観点から研究すべき。」	19
「高齢者でも働ける場所の確保。」	
企業誘致、産業振興によるまちおこし	6
市街地、商店街の活性化	6
豊川市のPR、知名度アップ、魅力あるまちづくり、観光の振興	6
農業の振興(農産物、食文化の掘り起しなど)	5
その他(市民イベントの開催)	1
(政策6)行政・協働	43
コミュニティ活動の推進(市民どうしの交流、イベント開催、市民の意識啓発など)	15

行政サービスの向上(きめ細かなサービス、公共施設の整備など)	9
市民・ボランティア活動の推進、行政との協働	7
開かれた市政の推進(住民主体のまちづくりなど)	5
その他(若者、女性が活躍できるまちづくり、防災無線の活用)	4
健全な財政運営(事業の選別、減税など)	3
(政策3)建設・整備	35
緑のまちづくり(自然環境の保全、公園の整備など)	13
住宅地の環境整備(道路・インフラの整備、住宅地供給、定住促進など)	9
市内移動の利便性向上(公共交通の充実、コミュニティバスなど)	7
道路交通網の充実(幹線道路の整備など)	4
その他	2
(政策1)安全・安心	21
安全・安心なまちづくり(防犯対策、夜間巡回、地域コミュニティ強化)	9
きれいなまちづくり(クリーン作戦、まちの美化など)	4
交通安全対策の強化(歩行者、自転車の安全確保など)	3
防災対策の推進(大地震に向けての災害対策)	3
その他(良質な水の安定供給など)	2
(政策4)教育・文化	20
学童期の児童の育成支援(学校教育、課外活動の充実、地域との連携など)	9
芸術・文化にふれる機会づくり(祭やイベントの開催、文化財の保存・活用など)	5
公園、文化・教育施設の整備・充実	2
スポーツの振興	2
その他(大学の新設、芸術文化スポーツ経済のバランスのとれたまちづくり)	2
(その他)	4

(4) 「訪れたい」まちにするために必要な取組み（事業など）

多くの人に「訪れたい」と思ってもらえるようなまちにするために必要な取組みについては、地域資源を活用した観光の振興や積極的な情報発信など、「産業・交流」に関する意見が95件と多く挙げられた。特に、昨年開催されたB-1グランプリや、おいでん祭などは高く評価されており、このようなイベントの誘致・開催による集客を期待する意見が多かった。

表 2-4 「訪れたい」まちにするために必要な取組み

問4 多くの人に「訪れたい」と思ってもらえるような豊川市にするために、市ではどのような取組み(事業など)が必要だと思いますか。	174(件)
(政策5)産業・交流	95
B-1 グランプリやおいでん祭のようなイベント開催(誘致)による集客 「B-1 グランプリのような全国区のイベントを時々行って豊川市をPRするとともに、おいでん祭のような毎年行っている行事の内容を充実させて知名度を上げていく。」 「毎年行う行事も大切だが、何年かに一度は大きなイベントを開催できたら、まちのPRもでき良いと思う。B-1 グランプリの開催は大変良かったと思う。」	26
豊川稲荷などの地域資源を活用した観光の振興 「せっかく豊かな緑や桜があるので、もっともっと手を入れて稲荷と共にPRすると良いと思う。」 「豊川稲荷を中心とした観光の振興。豊川市の特産物のPR。」	26
豊川市ならではの魅力、目玉となるようなもの・施設が必要 「特色あるものを一つ押し出す。何でもありではダメ。」	16
もっと積極的に市の魅力や名所・名産品のPR、情報発信をしていく 「テレビなどにもっと豊川市の名所や名産品が紹介されることが必要だと思う。」	13
特産品(農産物、花木)のPR、活用	4
商業の振興(大型商業施設の誘致、中心市街地の活性化、道の駅整備など)	4
産業の振興による魅力発信、企業誘致	4
その他(多様な地域振興事業の実施など)	2
(政策3)建設・整備	31
交通の利便性の向上(アクセス向上、市内移動の利便性、バリアフリー化など)	9
緑豊かで、清潔なまちづくり(景観、街路樹、花など)	8
大きな公園や花の名所などの整備	9
住宅地の整備(都市計画、景観、空き地・空家の活用など)	3
その他(住民が住み続けたいと思えるようなまちにするため常に努力する)	2
(政策4)教育・文化	22

歴史遺産や自然、伝統文化などを活かした取組み(平和公園など)、地域資源のPR	9
文化・芸術・スポーツの振興(子供たちに向けた取組み、施設整備など)	7
文化・スポーツのイベント誘致・開催による集客	5
その他(大学新設など)	1
(政策6)行政・協働	12
市民が主体となった取組み(ボランティアの活用、地域の盛り上がりが必要など)	6
若者を中心とした事業の推進	2
公衆無線LANの整備、市ホームページの改善	2
近隣都市との連携	2
(政策1)安全・安心	3
防犯、防災、衛生環境対策(ごみの落ちていないまち)	3
(政策2)健康・福祉	3
子どもや高齢者を大切にする	3
(その他)	8
特になし、わからない	6
「訪れたい」より「住み続けたい」まちづくりを	2

(5) まちづくりについての意見

最後に、豊川市のまちづくりについての自由意見としては、市民参加の推進や合併後の一体感をもったまちづくりなど、「行政・協働」に関する意見が46件で最も多かったが、その他の各分野についても幅広い意見があげられた。

表 2-5 まちづくりについての意見

問5 その他、豊川市のまちづくりについて、ご意見がありましたら自由にご記入ください。	116(件)
(政策6)行政・協働	46
市民参加の推進、市民からの意見・情報を集める取組み	8
地域コミュニティの再生、一体感を持ったまちづくり	7
行政サービスの向上、公共施設の整備・改善(老朽施設の改善、空庁舎の活用など)	6
市職員のレベルアップと適材適所の人事管理	6
市民主体のまちづくり、ボランティアの活用(高齢者など)	5
地域情報化の推進(公衆無線LANの整備、情報提供システムの改善など)	4
効率的・効果的な財政運営	4
行政と市民、企業、各種団体との協働・連携	3
その他(転入者の意見を聞く、いなりんの活躍、具体的に何を行っているか知りたいなど)	3
(政策3)建設・整備	14
地域ごと(旧町)の特色・魅力あるまちづくり、地域の発展	4
緑のまちづくり(桜や街路樹を増やす、雑草の手入れなど)	4
コミュニティバスの利便性向上	3
公園の改善・整備(子供の遊び場、赤塚山公園等の駐車場増設など)	3
(政策5)産業・交流	14
イベントやコンテスト等の継続的・定期的な開催、PR	5
産業の振興(地産地消、新産業の育成、商業の振興など)	3
豊川稲荷や伝統的な祭などの地域資源を活かした観光の振興	2
中心市街地、駅前の活性化	2
若者が集まるようなまちづくり、若者の雇用の場の確保	2
(政策2)健康・福祉	13
地域医療の充実(新しい市民病院、市の健診についてなど)	4
安心して子供を産み育てることができる環境づくり(少子化対策、保育所整備など)	3
高齢者を大切にすまちづくり(高齢者の健康づくり、無料バスの運行など)	3
障害者への柔軟な対応(障害児、手話等の普及など)	2
その他	1

(政策4)教育・文化	13
学校教育の充実・支援、いじめ対策	4
スポーツ・研修施設の整備、大学の誘致	4
歴史、文化の保存、活用	3
スポーツ、文化の体験機会の提供、イベントの開催	2
(総合)住みよさ	5
住民が住んで良かったと思えるまちづくり、都市化を目指す必要はない	3
とても住み良いまちである、さらなる進化を願う	2
(政策1)安全・安心	5
環境の保全、ごみ処理(ポイ捨て防止、ゴミステーションの活用など)	4
安全・安心なまちづくり	1
(その他)	6

3. 参考資料（アンケート調査票）

豊川市のまちづくりを考える 団体アンケート調査



豊川市宣伝部長
© いなりん

日頃は市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

豊川市では、現在、平成28年度から10年間のまちづくりの方針を示す「第6次豊川市総合計画」の策定に向けての作業を行なっています。

今後、豊川市においても少子高齢化の進行と人口減少により、多くの課題に直面することが予想されます。

住みよさを実感でき、いっそう活気があるまちを目指して、持続的な発展を支えていくため、これまでに市民の皆様と共に築いてきたまちの豊かさを礎として、効率的で堅実な行政運営と、市民の皆様との連携や協働によるまちづくりをさらに進めていきたいと考えています。

そこで、市内で活躍される団体の皆様に、これからの豊川市のまちづくりにおける課題や目指すべき姿、必要な取組みなどについてご意見をいただきたいと思いますと考え、アンケート調査を実施するものです。

ご多忙のところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成26年5月

豊川市長 山脇 実

ご回答にあたってのお願い

- 貴団体における日頃の活動を踏まえた率直なご意見をください
いますようお願いいたします。
- 回答は記述をお願いする内容となっておりますが、過度なご負担
にならないよう、簡潔に記入いただければ結構です。また、分
からない設問については、記入いただかなくても結構です。
- 回答欄の記述スペースが足りない場合は、別の用紙に記入いた
だいても結構です。
- 回答にあたっては、別添の「豊川市における取組みのご紹介」
も参考にしてください。
- 回答結果については、分野別に主なご意見をまとめ、個別の団
体名や個人が特定される情報を除き、報告書としてホームペー
ジ等で公表させていただきますのであらかじめご了承ください。
- 記入いただいた調査票は、**6月30日(月曜日)**までに同封の
返信用封筒によりご返送ください。

【この調査に関するお問合せ先】

豊川市企画部企画政策課 担当：瀬野、田辺

電 話：0533-89-2126

ファックス：0533-89-2125

Eメール：kikaku@city.toyokawa.lg.jp

※本調査票のWordデータをご希望の場合は、上記の
Eメールアドレス宛てにご連絡ください。

【調査対象団体について】

本調査は、市内の公共的団体や、とよかわボランティア・
市民活動センターに登録いただいているボランティア・市民
活動団体の皆様（約400団体）をお願いしています。

調 査 票 （裏面もあります）

回答者情報

次の項目についてご記入ください。

団体名		代表者 職・氏名	
記入者 職・氏名		電話番号	
活動 内容	貴団体の主な活動内容についてご記入ください。		

豊川市の現状について

問1 豊川市のまちの良いところ（魅力、特徴など）はどのようなところだと思いますか。

--

問2 豊川市のまちの物足りないところ（課題、問題点など）はどのようなところだと思いますか。

--

これからのまちづくりについて

問3 多くの人に「住み続けたい」と思ってもらえるような豊川市にするために、市ではどのような取組み（事業など）が必要だと思いますか。

問4 多くの人に「訪れたい」と思ってもらえるような豊川市にするために、市ではどのような取組み（事業など）が必要だと思いますか。

自由意見など

問5 その他、豊川市のまちづくりについて、ご意見がありましたら自由にご記入ください。

☆ご協力ありがとうございました。恐れ入りますが、**6月30日(月)**までに、返信用封筒にてご返送ください。

参考資料

(豊川市のまちづくりを考える団体アンケート)

～豊川市における取組みのご紹介～

平成18～27年度を計画期間とする「第5次豊川市総合計画」では、次のようなことを定め、まちづくりを進めています。

豊川市の将来像

「光と緑に映え、ゆたかで、住みよい、夢のあるまち」を豊川市が目指す将来像としています。

将来像の実現に向けて

この将来像を実現するために、次の政策と取組み（施策）を進めています。

政策	取組み（施策）	政策	取組み（施策）
(総合) 住みよさ	総合的な取組みの調整による計画の推進	(政策4) 教育・文化	学校教育の推進 生涯学習の推進と文化の振興 スポーツの振興
(政策1) 安全・安心	交通安全対策の強化 防犯対策の強化 防災対策の推進 消防体制の充実 救急体制の充実 地球環境の保全 ごみの減量化の推進 衛生環境の向上 排水対策の推進 水の安定供給	(政策5) 産業・交流	農業の振興 工業の振興 商業の振興 中心市街地の活性化 観光の振興 雇用の安定と勤労者福祉の充実 国際化と国際交流の推進
(政策2) 健康・福祉	健康づくりの推進 地域医療体制の充実 子育て支援の推進 高齢者福祉の推進 障害者福祉の推進 ひとり親家庭支援の推進	(政策6) 行政・協働	コミュニティ活動・市民活動の推進 男女共同参画社会の形成 開かれた市政の推進 地域情報化の推進 行政サービスの向上 職員の育成と適正な人員配置 健全な財政運営の推進
(政策3) 建設・整備	住環境の整備 公共交通の利便性向上 道路交通網の充実 緑のまちづくりの推進		